

【高知市外部人材活用促進事業】令和7年度事業者向けセミナーを開催しました

高知市では、市内中小企業の人手不足や経営課題の解決を目的に、外部人材活用を促進する事業を令和7年度より開始しています。

本事業は、副業・兼業人材をはじめとする外部人材とのマッチングやフォローを含む伴走支援を重視し、企業が安心して外部人材を活用できる枠組みと、その上で事業者の持続的成長および地域の産業振興を目指しています。

去る8月28日、副業・兼業人材を活用し「課題解決」「攻めの経営」に意欲のある事業者を対象に「外部人材活用セミナー」を開催、当日は、サービス業、製造業、卸売業、農業、教育業など多種多様な市内事業者が参加しました。

●セミナー内容と参加者の声

第一部では市商工振興部産業政策課の岡崎より、昭和から令和にかけての経営スタイルの変化について解説、さらに外部人材の活用による「柔軟な経営」や「イノベーションの促進」が可能である点に触れ、市内事業者が活用可能な支援メニューについて紹介しました。

第二部は、本事業の受託会社である株式会社カルビン（東京都港区）代表の東慶親氏を講師として招き、労働人口減少社会での新たな経営手法として注目されている外部人材活用（アウトソーシング、スポットワーカー、そしてプロ人材の副業活用）について解説いただきました。また、本事業の本題である「プロ人材の副業活用」については、導入企業のメリットや全国規模での活用事例を紹介し、参加者への理解を促しました。

参加者アンケートでは、プロ人材活用を「とても有効」または「有効」と回答した参加者が8割を超え、高い関心が示されました。「費用対効果が抜群に良さそう」「経営者および社内に不足している知識やスキルを直接プロ人材から獲得できる」「自社で専門部署を新設しなくても、プロ人材で代替できそう」と言った多くの共通意見や、個別には

- ・幅広く活用できそう、まず課題を明確にしたい（教育）
 - ・有効活用できる可能性がある（製造）
 - ・具体的な事例や数字での説明でわかりやすく、社に戻って参加を検討したい（サービス）
 - ・人材育成の面からも外部人材を活用して課題を解決したい（製造小売）
- など、外部人材活用に向けた前向きな声が寄せられました。



伴走支援について

セミナーでは副業・兼業人材活用の有効性をお伝えしましたが、市内事業者が実際に副業・兼業人材を活用してみたい！となっても、何から始めたら良いのかわかりません。

本事業では、自社における新たなチャレンジや課題解決に取り組みたいという意欲のある市内事業者に対し、副業・兼業人材活用にあたって必要となるチャレンジや課題の言語化→求人→目的・目標の達成までが円滑に進むよう伴走支援（無料※：最大5者まで）を行っています。

※副業・兼業人材への報酬や必要に応じ発生する高知への渡航費などは事業者負担となります。

応募はこちら：

[【高知市外部人材活用促進事業】伴走支援希望事業者募集！！ - 高知市公式ホームページ](#)

（※令和7年9月10日で受付終了）

プロフェッショナル人材とは？

プロ人材の副業活用とは、企業が社外の専門人材に対して、必要な時期や期間に応じて業務委託を行い、自社の経営課題の解決を図る仕組みです。対象となる人材には、大手企業での実務経験を持つ方や、特定分野に強みを持つフリーランスなどが含まれ、主に以下の分野で専門性を発揮します。

- ・ 販路拡大
- ・ 広報・PR
- ・ 業務改善
- ・ 人事・採用戦略 など

特に地域の中小企業にとっては、都市部の優秀な人材を地理的制約なく活用できることや、正社員雇用に比べて採用コストや固定費を大幅に抑制できる経済的メリットが大きな魅力です。一方、プロ人材にとっては、第一線で培った知見を地方企業に提供し、経営課題の解決に貢献するとともに、副業を通じてキャリアの幅を広げ、収入を増やすことができます。

2018年1月、厚生労働省が「モデル就業規則」を改定したことを契機に、副業を容認する大手企業が増加しました。これにより「プロ人材」の副業活用は、より多様で柔軟な人材活用の選択肢として注目されています。リモートワークの普及や働き方の多様化と相まって、地方の中小企業における新たな経営手法として活用が広がっています。

委託先情報

東京都港区南麻布 3-20-1 Daiwa 麻布テラス 5階

株式会社カルビン 代表取締役 東 慶親